



成年男子1000メートルと1500メートルの個人2冠を達成し、本県選手団から祝福される松津秀太選手(中央、シリウスEHC)=1月29日、群馬県渋川市(岩手日報2025年1月30日付)

成年男子Aジャンプ 安定した飛型で100・0点をマークし優勝した小林龍尚(土屋ホーム)=秋田県鹿角市・花輪ジャンプ台(岩手日報2025年2月15日付)



成年男子500メートル決勝 最後の直線で先頭に立ち、36秒46で初優勝した松川大和(シリウス)=1月27日、群馬県渋川市・高崎健康福祉大学伊香保リンク(岩手日報2025年1月28日付)

Contents

伊香保国スポ2025／晴れて輝け!おかやま国スポ／	2
あきた鹿角国スポ2025	
Athlete Voice 入賞者の声	4
理事長あいさつ	8
第81回国民スポーツ大会冬季大会	9
スキー競技会開催地決定	
アクティビティレポート	10
女性アスリート支援	14
今、注目の選手たち	16
岩手県スポーツ協会表彰	17
協賛会員名簿	20

岩手日報社の許諾を得て転載しています

ホームページ <https://www.iwate-sports.or.jp/>

岩手県スポーツ協会

検索

いわてスポーツ
イベントカレンダー

スポーツくじ





成年男子1000メートル決勝 自身の持つ大会記録を塗り替え、1分9秒75で2連覇した松津秀太
(中央、シリウスEHC)＝群馬県渋川市・高崎健康福祉大学伊香保リンク(岩手日報2025年1月30日付)



アイスホッケー競技成年男子2回戦 岩手県VS福岡県



スケート競技スピード500mで、成年女子、成年男子同時入賞を果たし、本県選手団本部役員から祝福を受ける三浦陽選手(左)と松井大和選手(右)



成年女子2000メートルリレー決勝・本県の3走沢野心想(右、日体大)からバトンを受けるアンカー立花姫星々(日体大)(岩手日報2025年1月30日付)

スケート競技会・アイスホッケー競技会

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(スピード)

伊香保国スポ2025

79th Winter JAPAN GAMES 2025

許可番号 第8号



晴れて輝け! おかやま国スポ

輝く君は氷上の華

許可番号 国岡実第239号

- ◆会 期 令和7年1月26日(日)～2月5日(水)
- ◆会 場 群馬県渋川市 岡山県岡山市・倉敷市
- ◆大会参加数 42都道府県
1,735名(選手・監督、本部役員)
[スケート]39都道府県738名(選手・監督)
[アイスホッケー]27都道府県638名(選手・監督)
- ◆本県選手団 44名(選手・監督34名、本部役員10名)
[スケート:選手・監督17名]
[アイスホッケー:選手・監督17名]

スキー競技会

第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会

あきた鹿角国スポ2025

許可番号 第14号

- ◆会 期 令和7年2月13日(木)～16日(日)
- ◆会 場 秋田県鹿角市
- ◆大会参加数 47都道府県
1,654名(選手・監督、本部役員)
- ◆本県選手団 66名(選手・監督57名、本部役員9名)

第79回国民スポーツ大会冬季競技(スケート・アイスホッケー・スキー) 終了時点の総合得点

◆総合成績

天皇杯(男女総合)成績 105.0点 14位(前回90点16位) 皇后杯(女子総合)成績 34.0点 19位(前回42点16位)

回数	70回 H27	71回 H28	72回 H29	73回 H30	74回 H31(R1)	75回 R2	76回 R3	77回 R4	特別 R5	78回 R6	79回 R7
得点	124.5	178	175	139	115	123	-	103	128	90	105
順位	14位	4位	4位	10位	13位	11位	空位	16位	11位	16位	14位



複合成年男子A 前半飛躍を2位で折り返して6位に入り、11大会連続入賞した三ヶ田泰良(JR盛岡クラブ) (岩手日報2025年2月16日付)



少年男子40キロリレー 若手の1走内記孝宗(右、盛岡南高)が3位で2走古舘諒誠(盛岡南高)につなぐ(岩手日報2025年2月17日付)



スキー競技最終日、クロスカントリー女子リレーの1走でスタートした大堰喜代選手



スペシャルジャンプ・コンバインドチームの岩手県選手団と本部役員

第79回国民スポーツ大会冬季大会 入賞者一覧

岩手日報社の許諾を得て転載しています

※スーパーキッズ修了生

順位	競技	種別	種目	入賞者 (氏名・所属)
1 位	スケート	成年男子	スピード 500 m	松井 大和 (株式会社シリウス)
	スケート	成年男子	スピード 1000 m	松津 秀太 (株式会社シリウス EHC)
	スケート	成年男子	スピード 1500 m	松津 秀太 (株式会社シリウス EHC)
	スキー	成年男子 A	スペシャルジャンプ	小林 龍尚 (土屋ホームスキー部)
4 位	スケート	成年女子	スピード 500 m	三浦 陽 (八戸学院大学) ※
				三浦 陽 (八戸学院大学) ※
				星野帆乃華 (盛岡農業高等学校 (教)) ※
				沢野 心想 (日本体育大学)
5 位	スキー	成年男子 B	スペシャルジャンプ	立花姫星々 (日本体育大学) ※
	スキー	成年男子 B	コンバインド	永井 健弘 (盛岡市役所)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	永井 健弘 (盛岡市役所)
	スキー	成年男子 A	クロスカントリー	大堰 徳 (早稲田大学)
6 位	スキー	成年男子 A	コンバインド	三ヶ田泰良 (JR 盛岡スキークラブ)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	柴草 陽祐 (盛岡農業高等学校 (職))
	スキー	成年男子 B	コンバインド	柴草 陽祐 (盛岡農業高等学校 (職))
	スキー	成年男子 B	スペシャルジャンプ	柴草 陽祐 (盛岡農業高等学校 (職))
7 位	スキー	女子	クロスカントリーリレー 4 × 5km	大堰 喜代 (盛岡南高等学校)
				西舘 陽里 (一戸町立奥中山中学校) ※
				小山田凜花 (盛岡南高等学校)
				釜石 知奈 (盛岡南高等学校)
8 位	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー 4 × 10km	植津 宏斗 (盛岡工業高等学校) ※
	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー 4 × 10km	大峠 莉輝 (盛岡工業高等学校)
	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー 4 × 10km	武田 大飛 (盛岡農業高等学校)
	スキー	少年男子	クロスカントリーリレー 4 × 10km	松本倫太郎 (盛岡農業高等学校)
8 位	スキー	成年男子 B	コンバインド	永井 陽一 (八幡平市立安代中学校 (教))
	スキー	成年男子 B	コンバインド	内記 孝宗 (盛岡南高等学校)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	古舘 諒誠 (盛岡南高等学校)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	古舘 拓 (雫石町立雫石中学校)
8 位	スキー	成年男子 B	コンバインド	地蔵堂伊織 (盛岡南高等学校)
	スキー	成年男子 B	コンバインド	宮本 慎矢 (株式会社三田商店)
	スキー	成年男子 C	クロスカントリー	若松 翔 (盛岡農業高等学校 (職))
	スキー	成年男子 C	クロスカントリー	若松 翔 (盛岡農業高等学校 (職))

Athlete Voice 入賞者の声

- Q1. 順位(優勝、入賞)が決まった瞬間のお気持ちをお聞かせください。
 Q2. 今大会(今シーズン)を戦うにあたって、日々の練習や生活で意識してきた部分(技術的、体力的、メンタル的、ゲン担ぎやルーティーンなど)を教えてください。
 Q3. 今大会の競技(試合)で一番良かった点、逆に悔しかった点を教えてください。

- Q4. 今大会期間中、競技(試合)以外で印象に残ったこと、嬉しかったことがあれば教えてください。
 Q5. 今後の目標や今後の競技生活の展望があれば教えてください。
 Q6. 未来ある岩手県の小中学生・高校生へ伝えたいことはありますか？
 Q7. 何でもご自由にお書きください。



まつ づ しゅう た 松津秀太 選手

スケート競技
成年男子スピード 1000m・1500m

- A1. 1500m は成年では初の優勝だったので嬉しかったのと同時に、とりあえず1種目優勝できてホッとしました。2日目に大和さんが500m 優勝して良い流れを作ってくれていたのもその流れを繋げられて良かったと思いました。
 1000m ではリラックスしてレースに臨めたので冷静にレース運びができました。連覇もそうですが、かねてよりの目標であった2冠を狙って獲れたという達成感と充足感を強く感じました。
 A2. ダイエットとレース前日のカップラーメンです。しっかり減量してカップラーメンで栄養を入れることで身体が動く気がしました。
 A3. 当初想定していた作戦通り行かないイレギュラーが発生してもそれにしっかり対応できたことです。
 悔しかった点はリレーで決勝に残れずに3冠を取り逃がしたことです。
 A4. 温泉が気持ち良かったです。
 A5. ミラノコルティナオリンピックでメダル獲得
 A6. 自分の長所と短所を正しく認識して、長所を伸ばして短所を補う。この繰り返しです。ただがむしゃらに練習するのではなく、頭を使ってスマートに練習することが大事です。
 勝つ人はスケートが上手い人でもたくさん滑った人でもなく、最終的に速く滑った人の勝ちです。
 A7. 今年も岩手県の皆様のおかげで優勝することができました。多大なご支援、ご声援ありがとうございました。

まつ い や ま と 松井大和 選手

スケート競技
成年男子スピード 500m

- A1. 昨シーズンまで国体では勝つことができなかったのが素直に勝てて嬉しく思います。
 A2. フィジカル面ではトップアスリートも通う東京のジムに通い体の使い方を教えていただきました。
 トレーニング面では自分に合ったメニューを厳選して1人で行いました。
 テクニック面では今までの経験から早く滑るにはこうすればいいのではないかと考えて滑りを作りました。
 A3. よかった点は最後にちゃんとまくれたことです。
 悪かった点はそんなにありません。
 A4. 伊香保開催ということで温泉が良かったり、ご飯が美味しくてリフレッシュできました。また、普段の競技会よりもお祭り感がある国スポはやはり楽しかったです。いつも話さない関わり合いの少ないメンバーともコミュニケーションが取れて楽しかったです。
 A5. 来シーズンのオリンピックに出るようがんばります。
 A6. 多くのトップアスリートが生まれている場所なので先輩方の背中を追って頑張りたいです。
 真面目に頑張っていれば大人たちも力を貸してくれると思います。
 岩手のスポーツを盛り上げてください。
 A7. この度は取材していただきありがとうございました。
 岩手のスポーツ復興のためにあと少しですがお力になればいいなと思っています。今後ともスピードスケートをよろしくお願いします。



小林龍尚選手

スキー競技
成年男子A スペシャルジャンプ

A1. シンプルに嬉しかったです。

社会人初優勝ということもあり、最初は長いゲームの中だったのであまり実感はなかったのですが、時間が経っていく中でよく考えたら喜びでいっぱいになりました。

A2. 基本的には減量は欠かさず行っています。

今シーズンはアプローチのポジションに重きを置いていました。

A3. 今大会、飛距離ではトップにならなかったものの、ウインドファクター導入のおかげで勝つことができました。風があまり良くなかったおかげで減点が少なかったこと、そして飛型点が一番良かったとの評価をもらったことで勝てたことが嬉しかったです。

A4. 秋田県は小中高校時代によく練習に通っていたので、とても懐かしく思いました。

A5. 国スポで優勝できたことを自信にして、今後は国内戦での優勝が目標です。その後はワールドカップまで成り上がりたいです。

A6. 夢は必ず口に出してください。そして諦めずに継続してください。



大堰喜代選手・西舘陽里選手 小山田凜花選手・釜石知奈選手

スキー競技
女子クロスカントリー リレー

A1. 個人では入賞はできず、もちろん悔しさはありましたが自分の滑りができたので達成感がありました。リレーでは、2走の選手にいい形で繋ぐという強気な気持ちで滑りきり、ライバルの選手と競りながらタイム差もなく4位で繋ぐことができ、とても楽しく滑れました。

A2. まず、生活ではレースの為に日頃からストレッチなどのコンディショニングは欠かさず行っています。コンディショニングをやるかやらないかで翌日の体の動きが変わるので大切にしています。練習では自分は後半落ちてしまう事が課題なので、体力面と精神面を鍛えてきました。他にも課題が多くありますが、去年よりは確実に成長を感じます

A3. 良かった点は、全ての競技において調整や準備をしっかり行い自分の滑りができた事だと思います。私は負けず嫌いのタイプなので、リレーのようにライバルがいると闘争心が湧き前の人から絶対離れないという強い気持ちで滑りきれました。

悔しかった点は、やはり入賞という形でサポート、応援し

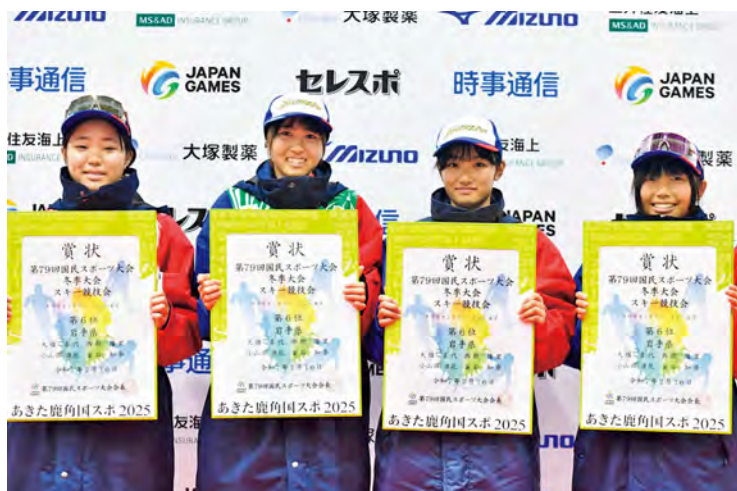
てくださる方々に恩返しできなかった事です。スキーは個人競技ですが、沢山のサポートがあってこそスタートラインに立てるスポーツなので、やはり結果で恩返しできなかったことが悔しいので、残りの大会で恩返しできるよう頑張ります。

A4. 5km というコースで沢山の方々の声援が聞こえたことです。滑っている間、度切れることなく聞こえてきて、こんなにも沢山の方々が応援して頂いているのかと感動しました。本当に嬉しかったです。

A5. まずは、残りの大会を一つ一つ大事にして全力で自分の走りで滑りきることです。いつも万全な状態を保つことは厳しいですが、練習や体調管理をしっかり行い、悔いのないレースにできるよう楽しんで滑りきります！

A6. まず、どんなスポーツでも周りへの感謝を忘れないでください。周りのサポートがなければ絶対に競技はできません。そして競技を続ける中で、苦しい瞬間は誰にでもあります、ですが、そこで自分がどう考えるかで未来は必ず変わります。これは自分が成長する時だと受け入れ改めて考えるか、自分の力はここまでだと諦めるかで行動も気持ちにもそこで差がつきます。ですので、そういう瞬間が来たら、まずは1度立ち止まってしっかり自分の頭で考えてください、人の意見を聞くのも大切ですが、最終的には自分で決断し、行動するべきです。考え方で本当に変わります。必ずそれが未来に繋がります。能力がある子達は岩手県には沢山いると思いますので自信をもってスポーツを楽しく行って欲しいです。

A7. これからも皆さんに喜んで貰える、感動してもらえるような滑りをしていきます。これからも応援よろしくお願い致します！



6位入賞した女子の(左から)大堰喜代、西舘陽里、
小山田凜花、釜石知奈
(岩手日報 2025年2月17日付)

国スポ オフショット





湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会 2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)
第24回全国障害者スポーツ大会 2025年10月25日(土)～10月27日(月)

2025



許可番号 わ輝滋実委第 88-1_R7号

Sports いわて No.96



理事長あいさつ

公益財団法人 岩手県スポーツ協会
副会長兼理事長 谷 藤 節 雄

【国民スポーツ大会 冬季は優勝“4”】

第79回国民スポーツ大会冬季大会では、スケート競技3、スキー競技で1の優勝者を輩出し、全体でも前年を上回る入賞数と天皇杯得点を獲得してくださいました。現地では、多くのスタッフが選手を支え活躍していました。ワックス等の機材調整担当、トレーナーによるリカバリーケア・応急処置・ドーピング対応等のコンディショニングサポートは、選手の能力を最大限に引き出してくれました。『チームいわて』の輪に感動しました。この盛り上がりや滋養での本大会に繋げ、目標である天皇杯20位台、入賞競技団体数20団体を達成し、多くの種別（成年・少年）が入賞してくれることを期待しています。

反面、課題として少年種別の競技人口減少という問題が浮き彫りになってきました。

【競技人口減少の現実】

本県の少子化については、次のようなデータがあります。現在の中学1年生の出生者は、約9千名でした。令和6年の出生者は、約5千名ですから、12年後、中学1年生は今の56%、約半数強になってしまうということです。言い換えれば、たったの12年で、中学生の部員が半数になる、団体競技のチーム数が半分に、現在20チームあるものが10チームになってしまうということです。

次に、部活動加入率についてです。本県では、中学生の部活動加入率100%の時代が長く続きました。全員加入のルールがあり、部活動を通して活力のある学校生活が作りあげられてきました。現在は、国の施策により部活動が生徒の自主的・自発的な参加によることとなり、活動の場を地域に求める生徒も多くなってきました。学校部活動が任意加入になって、加入率が減り、競技人口が減ったという話をよく聞きますが、そうではなく、（中学校からのデータ提供が必要ですが）部活動＋地域活動での加入率を検証する必要があります。私達は、地域でスポーツ・文化芸術活動ができる機会・選択肢を確保し、「何もしない生徒をつくらない」環境にしていかなければならないと思います。

【地域展開 競技団体としての準備】

中学校部活動の地域展開については、国・県の方針を受け、

それぞれの地域の特色や状況に応じて各市町村が取り組んでいます。その受け皿として期待されているのは、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、競技団体クラブです。少子化の危機を共有し、総合型クラブや少年団に続いて、競技団体クラブが整備され、高等学校につなぐことが少年の強化にもなります。

具体的には、①県の競技団体が市町村の競技団体等と連絡・調整しながら、競技団体クラブの立ち上げに向けた構想をねり、準備すること。②実施のタイミングについては、今ある学校部活動の状況を考慮しながら、（ア）学校部活動（土日の活動は一考）→（イ）地域連携（合同チーム、外部指導者の活用）のクラブ→（ウ）地域クラブへと進みますが、統合によりチーム数が減ることで、生徒の活動の場や大会出場の可能性がせばまること等がないよう、特に移行期には生徒のための活動環境を考える必要があると思います。

【スポーツ少年団の役割 目的と目標】

地域展開の中でスポーツ少年団活動は、今後更に注目されることになります。スポーツ少年団の理念は、①一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを提供すること。②スポーツを通して青少年のこころとからだを育てること。③スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献すること。とあり、これこそがスポーツの「目的」であることを再認識する必要があります。

私達は、この「目的」を達成するために、身体的成長に加えて、協調性や創造性等豊かな情操を養うための「目標」を設定しています。スポーツを通して地域で子どもの成長を支え、生涯を通じてそのスポーツを続けていける環境を作っていかなければならないと思います。

地域展開については、皆さまのからのご意見を多数いただきながら、進んでいくものと考えます。

【つぶやき】

前号で運動会のスタートを英語にしてみようかと記しました、早速、「やってみます。」とのご連絡を数件いただきました、ありがとうございます。スタート時は“お静かに”、競技のマナーも伝えていけたら素敵だと思います。

令和9年(2027年)第81回国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会 開催地 "岩手県" に決定!!

令和9年(2027年)開催の第81回国民スポーツ大会スキー競技会の開催地が岩手県に決定したことを受けて、開催決定書の交付が令和7年1月21日(火)に岩手県庁にて行われました。

日本スポーツ協会常務理事兼国民スポーツ大会委員長山本浩氏から達増岩手県知事へ開催決定書が手渡され、その後山本大会委員長および公益財団法人全日本スキー連盟会長原田雅彦氏から開催受諾に対するお礼の言葉をいただきました。岩手県での冬季大会スキー競技会は4年ぶり13回目の開催となります。



国民スポーツ大会 開催地

西暦	令和	回数	スケート競技会 アイスホッケー競技会	スキー競技会	本大会
2025	7	79	スピードスケート：群馬 ショート・フィギュア・アイスホッケー：岡山	秋田	滋賀
2026	8	80	青森	青森	青森
2027	9	81	ショート・フィギュア：山梨 スピードスケート・アイスホッケー：未定	岩手	宮崎
2028	10	82	長野	長野	長野

※第78回大会から国民スポーツ大会に名称変更

スポーツ振興くじ助成金助成事業について

日本スポーツ振興センターによるスポーツ振興くじ助成金の交付を受け、以下の事業を行っています。

●事業内容

- ①スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ情報の提供
広報誌「Sports いわて」の発行 ※95号より「体協いわて」から名称変更
- ②総合型地域スポーツクラブ活動助成
クラブアドバイザー等配置
岩手県スポーツ協会クラブアドバイザー配置事業

●事業概要

- ①本協会・加盟団体等の活動状況を知ってもらうため、広報誌「Sports いわて」を発行する。広報誌を通じて県内外に広く発信し、本協会の取り組みについての理解と支援・協力を図るとともに、スポーツ振興の一助とする。

- ②専門的な知識や豊富な実績を持つクラブアドバイザーが指導や助言を行うことで、県内の総合型クラブの創設及び育成の促進を図る。

●助成金交付額

令和6年度決定額

- ① 1,107,000円 ② 3,816,000円

●事業実施状況

- ①年2回合計3,500部を作成し、県内小中高等学校、スポーツ団体、スポーツ施設などに配布。令和6年度は第95号を12月に発行。第96号を発行予定。
- ②クラブアドバイザー1名を配置し、総合型クラブ等への指導・助言を実施。



▶ Activity Report

(公財) 岩手県スポーツ協会選手強化事業

ジュニア体験・育成事業

実施報告

<ビーチバレーボール体験会>

主催 岩手県バレーボール協会



ビーチバレーボールは1997年なみはや国体から公開競技、2012年ぎふ清流国体ではデモンストレーション競技、2017年愛顔つなぐえひめ国体からは正式競技として国民体育大会で実施されてきました。

2019年いきいき茨城ゆめ国体からは、成年種別から全県出場での少年種別に変更、さらには2024年国民スポーツ大会SAGA2024からはブロック予選で出場権を争う形となりました。

そのような状況で東北ブロック予選を勝ち抜くには、早い年代からビーチに親しみ、砂上での経験値を高めて競技力を向上させることが急務であると考えました。

今年度の東北ブロック予選では、少年女子は2年連続同ペアで参加し、ブロック2位で予選を通過したものの、少年男子は2人とも初出場のペアで、ビーチの特性に慣れてきた終盤は非常に良い



ものの、少年男子は2人とも初出場のペアで、ビーチの特性に慣れてきた終盤は非常に良い



試合を展開し、最終戦で1勝したものの、序盤の試合で実力を発揮できず、6位で予選通

過ができませんでした。

今回の事業では、中学生年代の選手にビーチへの興味関心を持ってもらう機会を作り、砂上での基本技術の習得やビーチ独特の戦術についての理解を深めてもらうことを目的として実施しました。

参加者は中学生男子を中心に、女子や小学生の参加もありました。また、インドアでの県内上位校の生徒も参加しており、参加者全体のモチベーションも非常に高いものがありました。

具体的な練習内容としては、ビーチでの動作、ビーチで特徴的なプレーで使われる基本スキル、タスクゲーム等を実施しました。

足元の不安定さ、風への対応など苦労している部分もありましたが、初めて会った参加者同士が助け合う場面が多くみられ、スキルアップや、同世代の選手同士でのコミュニケーションといった面で非常に有益な事業となりました。

この体験・育成事業に参加した生徒が、ビーチの大会に選手として出場するなど一定の成果があり、今後も全国大会への継続的な出場や高校(少年種別)・一般での競技継続につなげていきたいと考えています。

<IWATE ドリーム陸上教室 2024>

主催 (一財) 岩手陸上競技協会

今回で3度目となる「IWATE ドリーム陸上教室 2024」が11月10日富士大学スポーツセンターで開かれ、約70名の小学4～6年生が集まりました。今回の講師は、2022年世界陸上110mハードル日本代表の石川周平選手と、2024パリ五輪100mハードル日本代表の田中佑美選手です。子どもたちは最初緊張していましたが、ウォーミングアップや「ピラミッドジャンケン」を通して打ち解け、笑顔を見せるように。その



ハードル走に挑戦

後、石川選手の指導のもと基本となる姿勢づくりに挑戦し、「頭を上から糸で引っ張られているようなイメージが大切」とアドバイスを受けました。

短距離走のクリニックでは、石川選手より基本姿勢からの前傾と自然な足の動きを学びました。田中選手も手本を示しながら質問に答え、最後は50m走の計測で全力疾走する子どもたちに温かい拍手が送られました。

ハードルのクリニックでは、田中選手のデモンストレーションに子どもたちは釘付けになり、「ハードルをスレスレで飛んでいた」「足が速くて驚いた」との声が上がりました。その興奮が冷めやらぬまま、子どもたちはハードル走に挑戦。田中選手のアドバイスを受けながらスピードを上げる方法を学びました。

休憩中も、子どもたちは両選手の周りに集まり積極的に質問。「抜き足が早く下ろせない」という悩みに対して2人は、「腕と合わせて、体の近くでコンパクトに回す意識を持つことが大切」と、実際の動きを見せながら

レクチャーしていました。

クリニック終了後の質問タイムでは、「大会前の緊張の乗り越え方」や「大会当日の朝食」についての質問が出され、選手たちは自身の経験を交えて回答しました。最後に両選手は「いろんな種目に挑戦して、自分が楽しいと思う競技を見つけてほしい」、「失敗を恐れず挑戦し続けることが大切です」と子どもたちを激励しました。



講師の田中選手（左）と石川選手（右）

<ジュニア育成への取り組み>

主催 岩手県カーリング協会



ジュニアカーリング体験教室

岩手県カーリング協会では今年度より、新たにジュニア育成事業を行いました。今回はその中から、3つの取り組みを紹介します。

1つ目は、競技力向上を目的とした「戦術講習会」です。講師に3度のオリンピック出場経験があり、現在は日本代表コーチの小笠原歩氏を招き開催しました。カーリングはチームによって、また試合中のタイミングによっても戦術が違います。どのように試合を組み立てていくか、作戦面がとても重要です。対象はジュニアからシニアまで幅広く参加。トップレベルの選手・指導者に教わることはジュニア育成にとっても重要なことで、大きな学びや刺激となり、トップを目指すきっかけにもなると考えます。

2つ目は「ジュニア大会への派遣」です。夏合宿として軽井沢へ選手11名を派遣し、現地のジュニアと合同合宿をし、その後大会にも参加しました。また、全国各地のジュニアが出場する大会にも選手を3月に派遣します。県外のカーリングシートに乗ること、試合経験をつむこと、いろんなチームと試合をすることなどジュニアのうちに多くの経験をすることで、競技への視野や幅が広がり、競技力の向上だけではなくアスリートとして

の自覚が芽生えることを期待しています。

3つ目は「ジュニアカーリング体験教室」です。初心者の子供を対象に月に1回実施し、冬休みには親子体験会も行いました。体験教室では、カーリングの基本動作を一通り練習し、最後にミニゲームを行います。ミニゲームが始まると子供たち同士の距離が一気に縮み、作戦を自分たちで考えるようになります。自然とコミュニケーションも取れるようになり、毎回とても盛り上がる時間となっています。この体験教室に参加して、またやりたい、もう少し上手になりたいという子供たちは継続して参加をしています。

盛岡市や二戸市の小学校では、学校体育としてカーリング体験に取り組む学校が年々増えていますし、日本選手権が首都圏開催されるなど、カーリングに対する注目度が高まっています。今後、カーリングが地域に根付いたスポーツとして定着するよう、体験教室を身近なものにしていきたいと思います。



カーリングジュニア（戦術講習会写真）

▶ Activity Report

スポ少通信 ジュニアリーダースクール



令和7年1月11日～13日、国立岩手山青少年交流の家において、岩手県スポーツ大会兼ジュニアリーダースクールを開催しました。

当事業は、県内のスポーツ少年団員のスポーツ活動を中心とした交流大会であり、活動を通じてス

ポーツ少年団のジュニアリーダーを養成しています。

令和6年度の参加者は、小学5年生が11名、6年生が1名の計12名、全員男子でした。

プログラムは2泊3日で、座学、スポーツ・交流活動を主とし、座学ではスポーツ少年団のことやリーダーに必要な資質などを学びました。スポーツ体験では、屋内でできるスポーツ雪合戦やボッチャなど、普段なかなかやることのないスポーツにふれてルールを学び作戦を立てたり、活動・生活全般の中でそれぞれの役割を果たし、充実した交流大会となりました。



人数があまり多くありませんでしたが、参加者同士すぐに仲が良くなり、活動全般を楽しみながらも、時間やルールを守って、大人があまり指示しなくても自分達でしっかり行動していました。大人の方で全部管理するよりも、ある程度子ども達の自律・自発に任せた方が、意識を持ち、しっかりやると感じております。



今回は12名全員がプログラムを最後までやり抜き、ジュニアリーダーに認定されました。

講師の皆様には多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

参加した子ども達には、ここで経験したことをそれぞれのスポ少活動や日常生活に活かしてくれるよう期待します。

さて、コロナが明けてから、競技大会の方は活況を取り戻しているものの、当事業のような交流大会への参加者がかなり減少しております。

競技大会は、スポーツをしていれば当然目標でありますが、自チーム以外是对戦相手であり、他チームのメンバーと親睦を深める機会は少ないと思います。

交流大会は、対戦相手だったチームの子や、全く関わることがなかった他競技の子など、集まった参加者全員が活動を共にする仲間になり、親睦を深められることが大きな魅力です。

当交流会の参加者は、開会式ではお互い知らない者同士で緊張した面持ちですが、活動を通してだんだん打ち解けていくと、宿泊棟の部屋では修学旅行のような状態になっており、閉会後はやり切ったという満足気な顔で親御さんのもとに帰っていきます。毎年見送りながら、ここで会ったスポ少仲間と有意義な時間を過ごせたことが伝わってきます。

当事業は、子ども達にとってこれまでになかった交流や体験ができる機会となっておりますので、市町村スポーツ少年団ご担当の皆様には、ご理解と参加者の募集にご協力をくださいますようお願い致します。



▶ Activity Report

令和6年度

岩手県生涯スポーツ指導者講習会



令和6年11月19日(火)岩手県民情報交流センター「アイーナ」において、岩手県生涯スポーツ指導者等講習会が開催されました。この講習会は、生涯スポーツに携わる方々を対象に生涯スポーツ関連事業の企画、運営及び指導に必要な知識や技能等を習得するとともに、それぞれのスキルアップや資質向上を図ることを目的としています。さらに、健康・体力づくり事業財団認定の健康運



動士及び健康運動実践指導者の登録更新研修にも認定されています。例年、地域スポーツ推進事業として岩手県の委託を受けて開催して

主催 岩手県・公益財団法人岩手県スポーツ協会
期日 令和6年11月19日(火) 10:00 ~ 16:00



おり、今回は県内外から52名が参加しました。

今年度は国立大学法人筑波大学(筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究セン

ター)体育系准教授の田邊解先生を講師に迎えて、「生涯動ける体づくりのためのヒント」をテーマに体力・運動能力の特徴や加齢に伴う体力低下、健康寿命を延ばすための運動について学びました。講義の中では高齢者の体力低下や女性の特徴からくる体力低下、健康づくりと街づくりを繋げた取り組み等をご紹介いただきました。実習では、どの年代でも取り組めるシンプルな中にもリズム良い運動で、楽しく笑顔で汗をかきながら健康寿命を延ばす運動を提供していただきました。参加者の皆さんからは、今後の実践に活きる有意義な時間であったと好評を得ることができました。



▶ Activity Report

新マーク作成への感謝状贈呈

岩手県スポーツ協会の新マークを作成していただいた多田伊吹氏(東京2025デフリンピックエンブレムをデザイン)が令和7年1月6日、当協会会館へご来館くださいました。

当協会理事長と手話通訳を交えながら談笑し、新マーク作成に至った経緯や現在の活動についてお話しされました。

当協会からは感謝状をお渡しし、感謝の意を表すとともに岩手県スポーツ界の発展を願い共に寄与していくことを誓い合いました。



「女性アスリートの障害予防支援のためのアンケート調査」報告

2022年3月にスポーツ庁が策定した第3期スポーツ基本計画では、総合的かつ計画的に取り組む施策の一つとして、女性アスリートや女性指導者の活躍促進施策が盛り込まれています。スポーツ現場では、女性アスリートのコンディショニングに関する医科学知見は蓄積されつつある一方、それらをうまく活用することについては課題が残されていると考えています。そこで岩手県内の実態把握と、今後の予防対策のために調査を行いました。今回はその一部を報告します。

調査目的

岩手県のスポーツ活動に取り組む高校生の女性特有のコンディショニングに対する充実したサポート体制を築くために、実態の問題把握と管理対策方法を知ることが目的に、月経リズムや月経による心身への影響、相談相手や対策知識の有無等について調査を行いました。

調査方法

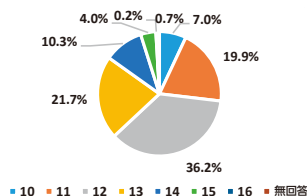
期間) 2024年6月～10月
対象) 運動部活動が活発な岩手県内高校4校の運動部所属の女子アスリートに依頼、回答に不備の無い428名を分析対象とした。
方法) Google form を用いて Web アンケートで実施しました。

結果 1) 身体形態

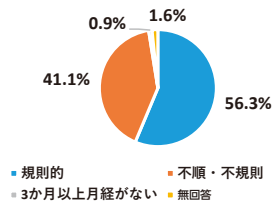
身長、体重、BMI は全国平均なみでした。BMI が 16 を下回ると無月経が心配されます。

	身長	体重	BMI
人数	427	418	418
最小値	145.0	32.0	15
最大値	173.0	90.0	37
平均値	158.4	51.8	20.7
SD	5.31	7.01	2.57

結果 2) 初経年齢割合



結果 3) 月経リズム割合



結果 4) 月経症状による影響

「ほとんどない。競技練習、学校生活に支障がない」238人 (55.6%)
「月経痛などに対して、薬を飲まないと症状が辛い」172人 (40.2%)
「痛み以外で部活や体育授業を休むような症状がある」14人 (3.3%)
「無回答」4人 (0.9%)

結果 5) 月経症状による痛み・辛さ

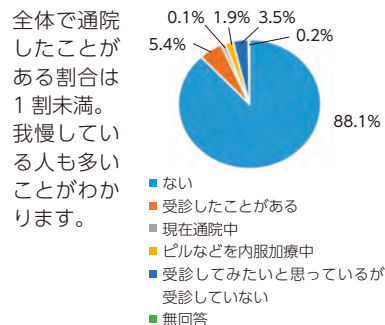
心身の痛みや辛さの自覚の人数割合
腹痛症状 (57.9%)、頭痛 (20.8%)、腰痛 (20.8%)、だるさや倦怠感 (14.3%)、イライラ (13.6%)、気分の落ち込み (11.4%) その他、眠気、貧血、立ち眩み等の症状が報告されました。月毎に現れる症状が異なる傾向も認められます。痛みや辛さを専門家のサポートを得て、コントロールする方法を知ることが必要と思われます。

結果 6) 相談相手 (複数回答)

相談相手は保護者やチームメイトが多い。4人に1人が相談していない状況です。

相談相手	人数	%
保護者	269	82.8%
チームメイト	161	49.5%
担任教諭	4	1.2%
養護教諭	5	1.5%
指導者	10	3.1%
その他	2	0.6%
誰にも相談していない	86	26.5%
無回答	17	5.2%

結果 7) 通院、加療状況 (全体)

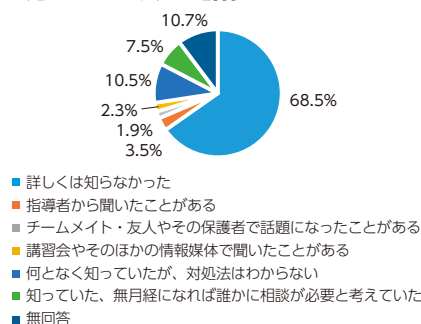


結果 8) 受診や通院に至らない理由

自分の症状が病院を受診するほどなのか不明 (54.0%)。月経痛など、どの程度の症状で婦人科を受診してよいかわからない (27.0%)。病院受診に抵抗がある・こわい・診察や検査、治療が不安 (17.5%)。かかりつけ医などがなく、どの病院を受診したらよいかわからない (4.8%)。部活の練習や試合の都合で受診できていない・受診を理由に練習を休みにくい (31.7%) その他、市販薬で我慢する等の意見がありました。

結果 9) 無月経と疲労骨折の相関

無月経と疲労骨折の相関関係について詳しく知らなかった人が7割弱でした。



結果のまとめ

今回の調査の結果は、岩手県で初めて得られた知見です。月経のリズムが不順で不規則な人が半数近くにも上っています。また、痛みや辛さなどで日常やスポーツ活動に影響がある人も多くいました。一方、通院加療をしている人の割合は少なく、医療とのかわりが薄い状況が認められます。無月経と疲労骨折の相関を知っている人も少数で、医科学サポート情報が行き届いていない現状がわかりました。女性アスリート自身も指導者、保護者も情報を得て、適切なスポーツ環境をつくりましょう！

知っておきたいことリスト

□月経メカニズム □月経リズムを整える方法 □無月経による影響 □医療との関わり方 □相談先 などなど
デリケートな問題ですが、一人で我慢することを解決策にしないで、誰かに相談してほしいと思います。

調査責任者：富士大学 准教授 内城 寛子 日本スポーツ心理学会認定 (スポーツメンタルトレーニング指導士)

女性は思春期から成熟期、妊娠・出産などのライフステージを通してホルモン分泌が変化し、体調や生活にも影響があります。また、食事制限・体重制限を行っている選手、練習量の多い選手、体格指数、体脂肪率の低い選手は無月経を引き起こしたり、十分な骨密度が獲得できないリスクがあります。

しかし、女性アスリートの心身を取り巻く影響や生じる問題は個人差が大きく、チームメイトや指導者など周囲に相談しにくい、相談する必要があると感じている選手もいることが予想されます。

指導者側には、女性ヘルスケア、心身のコンディショニングサポート方法の知識があっても、選手に伝えにくいと感じることもあるでしょう。今回のアンケート結果を見ると、まずは、選手自身のヘルスケアに関わる知識をさらに充実させていくことが必要だと感じています。そのためにはヘルスケア教育、情報提供の方法には工夫や選択肢が必要だと考えております。

女性アスリート支援部会では、岩手県スポーツ協会のメール相談窓口、情報提供ツールを活用しながら、女性アスリートへの内科、婦人科的な障害予防知識の普及、コンディショニング不良に関わる相談、受診相談、また指導者への情報提供等を拡充していきたいと考えています。

公益財団法人岩手県スポーツ協会

スポーツ医・科学委員会女性アスリート支援部会

部会長 足澤 美樹



女性アスリート支援のためのお役立ち情報

QRコードから各団体のHPやテキストをご覧ください。

動画コンテンツや選手用テキスト、指導者用ガイドなどすぐに使える情報が得られます！！

【岩手県内の情報】

・岩手県スポーツ協会／女性アスリート相談窓口

各分野のスペシャリスト（スポーツドクター、スポーツデンティスト、スポーツ栄養士、スポーツファーマシスト、アスレチックトレーナー、大学教授など）が、女性アスリート（小学生～一般）が抱える健康問題やスポーツに関する悩みに対応。



・岩手医科大学附属丸メディカルセンター／女性アスリートサポート外来

競技のレベルを問わずに受診が可能。（予約電話 019-613-6111（内線 2391））



【日本スポーツ協会】



【日本体育大学 女性アスリート競技力向上プロジェクト】



女性スポーツ促進に向けた
スポーツ指導者ハンドブック



女性アスリートのための
月経セルフチェックシート



女性アスリートの
コンディショニング

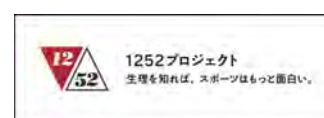


スポーツ女子のからだ気がかり
解決 BOOK

【一般社団法人女性アスリート健康支援委員会】



【一般社団法人スポーツを止めるな】



県スポ協プレゼンツ ～今、注目の選手たち～ 花巻北高校 弓道部

主な大会成績

【2023 年度】

第 42 回全国高等学校選抜弓道大会

第 42 回東北高等学校弓道選抜大会

第 42 回全国高等学校選抜弓道大会岩手県予選会

第 62 回岩手県高等学校新人大会弓道競技

【2024 年度】

第 43 回全国高等学校選抜弓道大会

第 43 回東北高等学校弓道選抜大会

第 43 回全国高等学校選抜弓道大会岩手県予選会

個人 田頭璃子 第 2 位

団体 第 2 位、技能優秀賞

個人 糠森美湖 第 1 位、
技能優秀賞

団体 第 2 位、射道優秀賞

団体 優勝、射道優秀賞

団体 優勝

個人 吉田茉那 決勝戦進出

団体 第 2 位、技能優秀賞

団体 優勝、射道優秀賞

個人 第 2 位 吉田茉那

今年度 12 月に行われた第 43 回全国高等学校選抜弓道大会にて、見事女子団体優勝に輝いた花巻北高校女子弓道部。現在、その優勝で慢心に浸ることなく数か月後に迫った県高校総体、そしてインターハイに向けて必死に練習に励んでいる 4 名にお話を伺いました。



Q 全国選抜大会で見事優勝を飾った時の気持ちは？

A (吉田茉那さん) 努力が報われたようで嬉しかったです。仲間を信じて積み上げてきたものが形になり、心から喜びを感じました。

(菊池葉月さん) 会場で応援して下さった関係者の皆さんの喜ぶ顔がとても嬉しかったです。

(森鍵日葵さん) 大会中調子が悪かったが、見事優勝できて安心しました。優勝直後は全然実感が湧かず、夢かと思いました。

(田頭璃子さん) 去年の全国選抜大会から団体で優勝することが目標だったので、優勝が決まった時はとても嬉しかったです。

Q これまで取り組んできたことの中で、主に効果的だった取り組みは？

A (吉田さん) 大会本番を意識した実戦形式の試合練習や、選手同士でのミーティング、目標や気持ちを共有したことです。

(菊池さん) ストレッチや栄養摂取などのコンディション管理。それが選手としての意識向上にも繋がりました。

(森鍵さん) 練習後などに定期的に行ってきたミーティングが効果的でした。話し合いを深めてさらに強く団結出来ました。

(田頭さん) メンバー内で頻繁にミーティングを行ったことが 1 番効果的でした。仲間の調子の様子や気持ちなどを共有出来たことで、団体としてのまとまりができました。また、少年女子団体メンバーとして SAGA2024 国スポに参加させて頂いた経験も私自身の力になったと思います。

Q 優勝をしたその後の心境の変化、環境の変化、取り組みの変化、思考の変化は？

A (吉田さん) 全国優勝という結果に慢心せず、通過点として受け止め、さらに高みを目指す意識が強くなりました。

(菊池さん) プレッシャーを前よりも強く感じるようになったため、そういう気持ちと向き合いながら試合への気持ちを作っていけるようになりたいと思うようになりました。

(森鍵さん) 周囲からのプレッシャーや期待を感じるようになりました。それを気にせず自分のペースで弓を引きたいです。

(田頭さん) 今後、プレッシャーを感じるかもしれませんが、私達らしい明るく楽しい雰囲気を失わず進んでいきたいです。

Q 現在、重点的に取り組んでいること、考えていることは何？

A (吉田さん) これから迎える高総体を見据え、団体を支える柱として安定した射を磨くことを意識しています。

(菊池さん) 会 (狙いを定めるときのフォーム) を保つことです。保つ時間を長くすると前と離れのタイミングが変わってしま

うため苦労しています。

(森鍵さん) やっと大会がほとんどない落ち着いた時期になったため、コンディションの管理を徹底的に行っています。

(田頭さん) 他校の的中や雰囲気に関わらず、自分の射に集中して引ける射を目指して練習に取り組んでいます。

Q 今後の目標は？

A (吉田さん) 私達らしい弓道を貫き、インターハイでの個人入賞や団体優勝が目標です。

(菊池さん) 残り数ヶ月の高校弓道を仲間と楽しむこと。県高総体をみんなと笑顔で終われたら良いと思います。

(森鍵さん) インターハイに出場して優勝すること。まずは県大会優勝という大きな壁を乗り越えることを目標に頑張ります。

(田頭さん) インターハイ団体優勝！



以上、花巻北高校弓道部の皆さんからお話を伺いました。来る県高総体、インターハイでのご活躍、そしてその先にある「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」でのご活躍を期待しています！



公益財団法人岩手県スポーツ協会表彰

令和6年度【功労賞】受賞者

本県スポーツの普及振興に多大の業績をあげ、その功績顕著な者

【市町村体育・スポーツ協会】11名

氏名	推薦団体
藤村 他可夫	公益財団法人盛岡市スポーツ協会
今 五郎	釜石市体育協会
上屋敷 正明	一般財団法人宮古市体育協会
亀谷 孝哉	一般社団法人一関市体育協会
新沼 行一	一般財団法人大船渡市スポーツ協会
佐々木 安廣	一般財団法人花巻市スポーツ協会
菊地 辰吉	一般社団法人奥州市スポーツ協会
金野 廣悦	特定非営利活動法人陸前高田市体育協会
遠藤 正	一般社団法人八幡平市体育協会
千葉 登	一般財団法人岩手町体育協会
千田 茂	金ヶ崎町体育協会

【競技団体等】16名

氏名	推薦団体
高橋 正美	一般財団法人岩手陸上競技協会
河内 康信	一般社団法人岩手県水泳連盟
高橋 忠恒	岩手県バレーボール協会
高槻 くみ子	岩手県体操協会
山本 繁	一般社団法人岩手県ハンドボール協会
加藤 善行	岩手県自転車競技連盟
菅野 勝郎	岩手県ソフトテニス連盟
新沼 興隆	一般社団法人岩手県卓球協会
中平 賢一	岩手県柔道連盟
村上 信夫	岩手県バドミントン協会
下川 祐造	岩手県剣道連盟
吉田 春彦	一般社団法人岩手県山岳・スポーツクライミング協会
佐藤 省二	岩手県銃剣道連盟
日向 訓	岩手県少林寺拳法連盟
浪岡 正行	岩手県カーリング協会
橋場 中士	岩手県中学校体育連盟

令和6年度【日本スポーツグランプリ表彰（日本スポーツ協会会長表彰）】受賞者

長年にわたりスポーツを実践し、顕著な功績をあげた中高年齢層の個人

伝達表彰

競技	氏名	推薦団体
剣道	菅崎 吉雄	岩手県剣道連盟

令和6年度【東北総合スポーツ大会功労者表彰（東北体育・スポーツ協会連合会会長表彰）】受賞者

東北総合スポーツ大会の健全な発展に貢献し、もって地方体育の振興に顕著な成果をあげた個人

伝達表彰

競技	氏名	推薦団体
弓道	足利 幸吉	岩手県弓道連盟



令和6年度前期【栄光賞】受賞者（個人）

全国大会の優勝者及び国際競技会において優秀な成績をあげた選手及びその指導者

競技	区分	氏名	所属	対象大会	成績記録
陸上競技	選手	阿部 玲菜	岩手県立盛岡視覚支援学校	第23回全国障害者スポーツ大会陸上競技	女子25-1部/砲丸投 優勝
陸上競技	選手	江川 勤	キンレイ・S・W	第35回日本パラ陸上競技選手権大会	男子F43/円盤投 優勝 男子F43/砲丸投 優勝
				2024ジャパンパラ陸上競技大会	男子F43/円盤投 優勝 男子F43/砲丸投 優勝
陸上競技	選手	大井 利江	北海道・東北パラ陸上競技協会	2024ジャパンパラ陸上競技大会	男子F53/砲丸投 優勝
陸上競技	選手	小野寺 萌恵	北海道・東北パラ陸上競技協会	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会	女子T34/100m 第3位
				2024ジャパンパラ陸上競技大会	女子T34/100m 優勝 女子T34/400m 優勝 女子T34/800m 優勝
陸上競技	選手	菊地 紫	奥州市立水沢図書館	第35回日本パラ陸上競技選手権大会	女子F37/砲丸投 優勝
				2024ジャパンパラ陸上競技大会	女子F37/砲丸投 優勝
陸上競技	選手	今野 桃果	岩手県立盛岡聴覚支援学校	第61回全国聾学校陸上競技大会	1部女子100m 優勝 1部女子200m 優勝
陸上競技	選手	中村 大地	筑波技術大学	第1回世界デフユース陸上競技選手権大会	男子800m 第3位 男子1500m 第3位 男子4×400mリレー 優勝
陸上競技	選手	東山 江梨子	盛岡市役所	第23回全国障害者スポーツ大会陸上競技	女子4-2部/立幅跳 優勝
水泳	選手	駿河 藍	岩手県立盛岡南高等学校	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	18歳以下チャンピオンシップ 女子200m個人メドレー 優勝
水泳	選手	千葉 龍成	イーハトーブSC	第23回全国障害者スポーツ大会水泳競技	男子2-1部/50m自由形 優勝 男子2-1部/50mバタフライ 優勝
水泳	選手	三尾 祐太	盛岡市スポーツ協会SC(MSA)	第27回日本知的障害者選手権水泳競技大会	男子ダウン症クラス/200m自由形 優勝 男子ダウン症クラス/100mバタフライ 優勝
水泳	選手	村田 奈々	釜石市役所(イーハトーブSC)	2024ジャパンパラ水泳競技大会	女子S21クラス/50m自由形 優勝 女子S21クラス/100m自由形 優勝
水泳	選手	山口 文子	岩手県	第23回全国障害者スポーツ大会水泳競技	女子8-2部/25m自由形 優勝
スケート	選手	吉田 雪乃	株式会社寿広	第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会	女子500m 優勝
自転車	選手	中野 慎詞	日本競輪選手会	2024ジャパントラックカップI	男子エリート ケイリン 優勝
自転車	選手	藤田 晃三	プリジストンサイクル(株)	日本スポーツマスターズ2024長崎大会自転車競技	男子ポイントレース 4～6部 優勝
自転車	選手	三浦 生誠	日本競輪選手養成所	2024全日本自転車競技選手権大会トラックレース	パラサイクリング男子1kmタイムトライアルMB 優勝
相撲	選手	長内 龍	岩手県立久慈拓陽支援学校	第62回全国教職員相撲選手権大会	個人の部 優勝
バドミントン	選手	菊地 生昭	いわてクラブ	第17回全国社会人クラブバドミントン選手権大会(個人戦)	60歳以上 男子ダブルス 優勝
	選手	藤澤 正幸			
バドミントン	選手	澤田 詩歩	ダイハツ工業株式会社東京支社	ヒューリック・ダイハツ ジャパン パラバドミントン国際大会 2024	女子シングルス/SL4 優勝
バドミントン	選手	千葉 すず	岩手県立前沢明峰支援学校	第6回日本知的障がい者バドミントン選手権大会	女子ダブルス/ID7 優勝
ライフル射撃	選手	佐々木 千鶴	岩手県警察学校	台北インターナショナルグランプリ	10m エアピストル女子個人 第3位
銃剣道	選手	朝日田 鳳	紫波銃剣道クラブ	令和6年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会	短剣道 中学生の部 優秀賞(優勝)
スポーツクライミング	選手	本明 佳	岩手県立水沢高等学校	第10回ボルダージュース日本選手権いわて盛岡大会	ユースA(U-18) 男子 優勝
なぎなた	選手	南館 日奈太	一戸町なぎなた協会	第8回世界なぎなた選手権大会	試合 団体男子 優勝 試合 個人男子 第3位
	選手	南館 ひより			試合競技 中学3年生の部 優秀賞(優勝)
なぎなた	選手	女ヶ澤 綜磨	岩手県立北桜高等学校	幸村杯第9回全国高等学校男子なぎなた選手権大会	試合 個人男子 優勝
武術太極拳	選手	川村 心輝	岩手県武術太極拳連盟盛岡市立見前中学校	第32回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会	ジュニア国際規格競技A組男子 太極剣 優勝
	選手	齋藤 志保	岩手県武術太極拳連盟	第41回全日本武術太極拳選手権大会	自選難度競技部門 女子 自選太極拳 優勝 女子 自選太極剣 優勝
				第10回アジア武術選手権大会	女子太極剣 第3位 双人太極拳 第2位
武術太極拳	選手	古川 湖貴	岩手県武術太極拳連盟盛岡市立大宮中学校	第3回武術太極拳ワールドカップ大会	女子 太極拳 優勝 女子 太極剣 第2位
武術太極拳	選手	和野 佳歩	岩手県武術太極拳連盟岩手県立盛岡第三高等学校	第32回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会	ジュニア国際規格競技B組男子 長拳B長器械 優勝
武術太極拳	選手	和野 佳歩	岩手県武術太極拳連盟岩手県立盛岡第三高等学校	第41回全日本武術太極拳選手権大会	規定競技部門 女子 ジュニア太極拳3 優勝
スポーツウエルネス吹矢	選手	小笠原 由樹	いわて・イーハトーブ支部	第16回全国スポーツウエルネス吹矢ジュニア大会	10mの部 優勝
フライングディスク	選手	熱海 共嬉	緑生園	第23回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技	アキュラシーディスリート・ファイブ優勝
フライングディスク	選手	袴田 茜	みのりホーム	第23回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技	アキュラシーディスリート・ファイブ優勝

競技	区分	氏名	所属	対象大会	成績記録
水泳	指導者	及川 雄輝	岩手県立盛岡南高等学校	第47回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会	18歳以下チャンピオンシップ 女子200m個人メドレー 優勝 (駿河 藍 選手)
ホッケー	指導者	三浦 広宣	いわてホッケースポーツ少年団	第47回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	女子の部 優勝 (いわてホッケースポーツ少年団)
体操	指導者	小堀 健大	パレットスポーツクラブ	JOCジュニアオリンピックカップ 2024全日本ジュニア体操競技選手権大会	選手権2部 女子団体総合 優勝 (パレットスポーツクラブ)
銃剣道	指導者	岩館 純也	紫波銃剣道クラブ	令和6年度全日本少年少女武道(銃剣道)錬成大会	短剣道 中学生の部 優秀賞(優勝) (朝日田 鳳 選手)

令和6年度前期【栄光賞】受賞者(団体)

全国大会の優勝者及び国際競技会において優秀な成績をあげた団体

競技	区分	氏名	所属	対象大会	成績記録
体操	選手	パレットスポーツクラブ 田子 紗璃亜 伊藤 美優 伊藤 咲乃 田子 由璃菜		JOCジュニアオリンピックカップ2024 全日本ジュニア体操競技選手権大会	選手権2部 女子団体総合 優勝

令和6年度前期【奨励賞】受賞者(個人)

栄光賞と同等と認められる成績を残した小学生

競技	区分	氏名	所属	対象大会	成績記録
相撲	選手	古館 皇	雫石町立雫石小学校	第15回全日本女子相撲岐阜大会	個人小学6年生 60kg未満級 優勝
武術太極拳	選手	八重樫駿太郎	岩手県武術太極拳連盟 盛岡市立山岸小学校	第41回全日本武術太極拳選手権大会	規定競技部門 男子 ジュニア太極拳2 優勝

令和6年度前期【奨励賞】受賞者(団体)

栄光賞と同等と認められる成績を残した小学生

競技	区分	氏名	所属	対象大会	成績記録
ホッケー	選手	いわてホッケースポーツ少年団 千葉 滯藍 畑中 陽菜里 小澤 紫記 三浦 葵唯 遠藤 羽凜 和島 詩音 今松 紗羅 遠藤 来未 小野 亜綺 畑中 莉乃 藤原 允美 畑中 紅花里		第47回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	女子の部 優勝



令和6年度(公財)岩手県スポーツ協会 賛助会員名簿

(公財) 岩手県スポーツ協会の活動に深いご理解を得て、多くの皆様にご加入いただきました。
ここに御礼を申し上げますとともに、今後ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

(敬称省略) 令和7年2月末現在

特別会員

岩手県商工会議所連合会

佐々木 一郎

法人会員

団体

青山四丁目自治会
岩手県信用金庫協会
(一社)岩手県医師会
(一社)岩手県薬剤師会
(公財)岩手県予防医学協会
(一社)岩手県歯科医師会

企業

(株)クラロン
名鉄観光サービス(株)
サンセール盛岡所
(株)小山田工業
(株)東北銀行
(株)畠山冷機工業所
トーバン印刷(株)
(株)Fair Sports Morioka A.T

杜陵高速印刷(株)
岩手トヨペット(株)
(株)木津屋本
(株)岩手銀行
(有)金田一商店
新興電気(株)
新水沢信用金庫
(株)今弘商店
さくら税理士法人
盛岡ガス(株)
(株)中央コーポレーション
(株)デンコードー
(株)JTB盛岡支店
山口北州印刷(株)

加盟団体

岩手県クレール射撃協会

岩手県ボクシング連盟
岩手県ローイング協会
(一社)岩手県ソフトボール協会
岩手県スケート連盟
岩手県ゴルフ連盟
岩手県剣道連盟
(公社)岩手県サッカー協会
(一財)花巻市体育協会
(一社)岩手県バスケットボール協会
岩手県バレーボール協会
(一社)岩手県卓球協会
(一財)岩手陸上競技協会
岩手県なぎなた連盟
岩手県柔道連盟

個人会員

藤原光明
谷節航
谷藤信二
平野正春
佐々木正貴
外山亜雄
高橋一男
小平幸一
松葉明人
片岡将礼
三ヶ田

小山武丈
池本寺君
小野木田
佐々木本
吉山村
山中藤
高橋原
小笠原
千葉

彰司清晴夫
哲繁志保彦
文行

佐々木貴弘
菅崎吉勝
清川慶隆
伊藤島正
中熊谷藤
佐藤静光
根田文範
鷹西田
小原昌
吉田

久保田廣美
菊池勝彦
渡邊好章
鈴木卓哉
佐々木敬誠
千葉敬徳
野崎子
和野和
上野吉
小笠原
横坂

山八菊千高
形木池葉橋
守浩徳秀敏
浩徳秀敏
徳秀敏
英至三
潤和
平之男雄之治
之治夫門郎
夫門郎央子彦

令和6年度(公財)岩手県スポーツ協会 寄附者名簿

斎藤次彦
(株)カガヤ建設
佐藤陸朗
(株)シリウス E H C

(同)ファーム中村
(株)シリウ行
コスモエコパワー
菅義行

(株)エヌティーコンサルタント
伊藤藤昇
(株)東北銀行・(株)げんきやグループ
ノイ・バンデ

誰もが、スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える社会にご支援ください!! 岩手のスポーツを



賛助会員募集

●会員の募集

(公財) 岩手県スポーツ協会は、『がんばれ! いわて』のスローガンを掲げ、岩手県のスポーツ振興事業を展開しながら、県民主体の民間団体としての自主性を高めるため、賛助会員制度を設けております。

21 世紀のいわてのスポーツ振興の原動力として、スポーツを愛する皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

●会員の皆様には

- ①会員証を交付いたします。
また、継続会員の方には、5 年継続後に感謝状を、10 年後には賛助会員特別功労賞を授与します。
- ②広報誌「Sports いわて」や県スポ協ホームページに随時氏名団体名を掲載いたします。
- ③広報誌「Sports いわて」や「スポ協要覧 (隔年発行)」等の刊行物を送呈いたします。
- ④岩手県スポーツ協会の会議室・駐車場を利用することができます。

●会費 (毎年度)

①個人会員	1口	5,000 円
②法人会員	1口	10,000 円
③特別会員	1口	100,000 円
(①、②、③とも 1 口以上)		

●募金の税制上の措置

- ◇法人の場合 法人税法に基づき、寄附金の全額を損金算入できます。
- ◇個人の場合 所得税法及び地方税法に基づき、2 千円を超える金額を寄附された場合は、所得税及び住民税の寄附金の控除となります。

加入申込

加入申込に関するご連絡は、次をお願いいたします。

〒020-0133 盛岡市青山四丁目 13-30 公益財団法人岩手県スポーツ協会
Tel 019-648-0400 Fax 019-648-1600 E-mail taikyo@iwate-sports.or.jp

①賛助会員募集趣意書 ②賛助会員申込書 等関係書類をお届けいたします。



岩手県ゴルフ連盟

事務局／盛岡市中央通 1-9-16 盛岡グランドホテルアネックス 1F ☎ 019-622-8250

安比高原ゴルフクラブ
一関カントリークラブ
岩手ゴルフ倶楽部
岩手沼宮内カントリークラブ
江刺カントリー倶楽部
きたかみカントリークラブ
北上市民ゴルフ場
栗駒ゴルフ倶楽部
南部富士カントリークラブ

ニュー軽米カントリークラブ
八幡平カントリークラブ
水沢リバーサイドゴルフ場
南岩手カントリークラブ
宮古カントリークラブ
盛岡カントリークラブ
盛岡ハイランドカントリークラブ
盛岡南ゴルフ倶楽部
ローズランドカントリークラブ



ひとつ、ひとつ、夢をカタチに。

<https://miyaginet.co.jp/>

信頼できる **Sportshop****岩手県スポーツ用品専門店協同組合**

盛岡市青山4丁目10-28 藤沢体育堂本部内 TEL.019-647-8484

- | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ●盛岡市 佐々木スポーツ
019-641-9371 | ●釜石市 田丸
0193-22-5551 | ●奥州市 サンエススポーツ
0197-35-0110 |
| ●盛岡市 タイガースポーツ
019-654-1587 | ●大船渡市 田村スポーツ
0192-26-4019 | ●奥州市 グランドスポーツ
0197-56-3228 |
| ●盛岡市 長谷川スポーツ
019-636-2002 | ●一関市 アタックススポーツ
0191-23-7285 | ●北上市 和賀スポーツ
0197-63-3052 |
| ●盛岡市 藤沢体育堂
019-647-8484 | ●一関市 若山スポーツ
0191-23-5107 | ●花巻市 八森
0198-24-8110 |
| ●八幡平市 モリサワスポーツ
0195-76-5450 | ●一関市 大原屋スポーツ
0191-72-2326 | ●紫波町 たむらスポーツ
019-672-2220 |
| ●一戸町 居也商店
0195-35-3231 | ●一関市 小野久商店
0191-52-2024 | ●紫波町 原スポーツ
019-672-2650 |
| ●一戸町 こもりスポーツ
0195-33-2686 | ●奥州市 及川スポーツ
0197-23-3727 | ●雫石町 ミネカワスポーツ
019-692-2308 |
| ●久慈市 千葉運動具店
0194-52-0300 | ●奥州市 井上スポーツ店
0197-35-2952 | ●宮古市 スポーツ・オールス
0193-63-0130 |

REACH BEYOND

何度も這い上がり
 何度も立ち向かった
 その先にひろがる
 憧れの舞台
 私たちはすべての人が
 この瞬間を迎えるために
 全力で支え、そして力になる
 決して諦めることなく進み続け
 最高の舞台へ、踏み出そう



すべての スポーツに エールを

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ

